

北部九州の自動車産業振興と

福岡モーターショー2012



福岡県知事

小川 洋氏

北部九州自動車150万台
先進生産拠点推進会議 会長北部九州自動車150万台
先進生産拠点推進構想

北部九州における自動車生産拠点作りの取り組みは、2003年2月に100万台の生産拠点を目標に掲げてスタートしました。その後、2006年8月からは、「北部九州自動車150万台生産拠点推進構想」へと拡充し、官民をあげて取り組みを進めてきました。

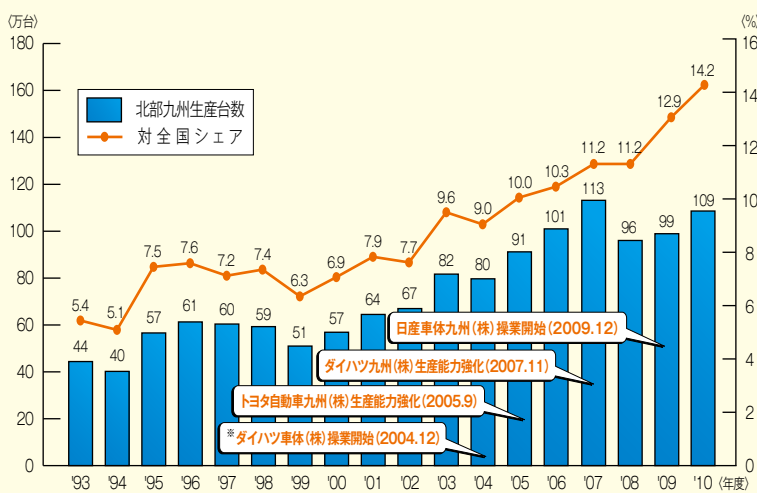
その結果、福岡県を中心とする北部九州は、完成車メーカー4社（日産自動車九州、トヨタ自動車九州、ダイハツ九州、日産車体九州）が立地し、年間154万台の生産能力を持つ世界有数の拠点として成長しました。

今後、北部九州の自動車産業の更なる発展を図る為には、地域全体の競争力を一層高め、自動車の開発から生産までを一貫して担える先進生産拠点を目指していく必要があります。

この為、福岡県では、150万台構想の第2ステージとして、2010年4月から、「自動車生産150万台」、「地元調達率70%」、「自動車先端人材集積拠点」、「自動車先端技術開発・社会実

証拠点」の4つの目標を掲げ、産学官が一体となって「北部九州自動車150万台先進生産拠点推進構想」に取り組んでいます。

1 北部九州の生産状況



北部九州自動車生産の推移

*2006年6月に「ダイハツ九州(株)」に商号変更



▲展示商談会の開催（自動車メーカー等へ地元企業が自社技術をPR）

2 地元調達率

2010年度の北部九州の生産台数は、3年ぶりに100万台を上回り、109万台となりました（2009年度生産台数：99万台）。北部九州の自動車工場は、いずれも最新鋭で生産効率が高く、国際的にも高い競争力を持っています。また、市場の変化に対応した環境対応車も生産しており、今後、更に生産の拡大が期待されます。

関連企業の戦略的な誘致による新規立地や、商談会の開催等による地場企業の新規参入・受注拡大により、地元調達率は、150万台構想策定時の50%から、概ね60%に上昇しています。今後、更に高機能部品産業の集積を図り、70%を超える地元調達率の実現を目指します。



▲設計開発技術者の人材育成講座

3 自動車先端人材の育成

設計開発技術者やものづくり製造基盤技術者等、自動車の開発から生産まで各分野を担う自動車先端人材の総合的な育成を推進しています。これまで三次元設計、ユニット部品設計、CAE技術等の設計開発技術者約400名、金型、めっき、ゴム、プラスチック等のものづくり基盤技術者約2,800名の人材を育成しました。また、工業高校生のインターンシップや大学生の実践的人材育成の推進にも取り組んでいます。2011年4月には、企業ニーズに基づいた実践的なカリキュラムの企画や産学官の連絡調整等を行う中核組織として自動車先端人材育成センターを設置し、人材育成の取り組みを強化しました。



▲ものづくり製造基盤技術者の人材育成講座

4 自動車先端技術開発の支援

地場企業の技術力を高め、より付加価値の高い部品製造を促す為、地場企業が大学等と連携して行う先進的な研究開発を推進しています。2006年度以降、国等の研究開発助成事業を活用し、計33件、総事業費約28億円の研究開発プロジェクトを支援しました。今年度も、経済産業省の戦略的基盤技術高度化支援事業等を活用して、13件の研究開発を支援しています。また、国等の大型プロジェクトの獲得に必要なデータ収集等の事前準備を支援する為、可能性試験（FS）を年4件程度実施しています。

5 高齢者にやさしい自動車開発の推進

福岡県では、高齢者の為の自動車という新たな需要を創出するとともに、高齢者が颯爽と運転出来る安全な自動車の実現に向けて、36道府県により知事連合を設立し、「高齢者にやさしい自動車開発プロジェクト」を推進しています。

知事連合では、高齢者による事故の分析や全国1万人の高齢者に対するアンケート調査により、2011年2月に高齢者の事故防止の為に必要



▲実験で使った2人乗り小型車

な安全支援機能や高齢者の使用実態に適した2人乗りの小型自動車をコンセプトとして提案しました。

2人乗り小型車が高齢者に受け入れられるかどうか等を検証する為、2011年の10月から11月にかけて、福岡県朝倉市で高齢者にコンセプトに近い小型自動車を日常生活で活用してもらう社会実証実験を実施しました。

モニターとして参加頂いた高齢者の皆様からは、「買い物等、近距離移動に小回りが効いて使いやすい」、「外出機会が増え、地域の活性化に繋がる」等のご意見を頂いたところです。

今後は、この社会実証で得られた情報を踏まえて、自動車メーカーに対しコンセプトに対応した高齢者にやさしい自動車の開発を要請し、一日も早い実用化を目指します。なお、このコンセプトを具体化したモデルとして、ダイハツ工業の「PICO」（18ページ写真参照）が、福岡モーターショー2012に出展されます。

6 福岡水素戦略の推進

福岡県は、九州大学の知的資源、九州大学伊都キャンパス（水素キャンパス）や北九州エコタウン地区等の実証試験場、そして、北九州市の製鉄所等から発生する大量の副生水素や産業化を実現する為に必要となる多彩な製造業の集積という強みを持っています。他の地域に無いこれらの強みを活かして、2004年8月、水素エネルギー新産業の育成・拠点化を推進する為、産学官の連携組織

『福岡水素エネルギー戦略会議』（会長…岩城正和氏・新日本製鐵（株）代表取締役副社長、2011年12月1日現在649企業・機関が参加）を設立し、

①九州大学を中核とした世界最先端の研究開発
②水素タウンや水素ハイウェイの構築をはじめとした社会実証

③全国唯一の水素人材育成

④世界最先端の水素情報拠点の構築

⑤水素エネルギー新産業の育成・集積
を柱とした『福岡水素戦略（Hy-Lifeプロジェクト）』を展開しています。

2011年度からの福岡水素戦略の第二期では、前述の5つの取り組みを基本に、2009年5月に市販化された家庭用燃料電池エネファームと、2015年頃の市販化が見込まれる燃料電池自動車の普及に重点的に取り組むとともに、2010年4月に開所した水素エネルギー製品研究試験センターを中心に、水素エネルギー産業への中小・ベンチャー企業の参入を強力に支援しています。

燃料電池自動車については、2011年1月、自動車メーカー3社と水素供給事業者10社により、2015年に首都圏、中京、関西、北部九州の4大都市圏を中心とする国内市場に本格導入する、とする共同声明が出されました。福岡県でも、その取り組みを後押しする為、戦略会議を中心に「北部九州燃料電池自動車導入計画（仮称）」を策定・実施することとしています。



▲九州大学水素ステーションと燃料電池バス



▲北九州水素ステーションと実証走行中の燃料電池自動車

民間13社(*)による共同声明

2011年1月13日

自動車メーカー3社と水素供給事業者10社は、2015年に首都圏、中京、関西、そして「北部九州」の4大都市圏を中心とする国内市場に燃料電池自動車を本格導入することを表明

- ▶自動車メーカーは、燃料電池自動車を2015年に4大都市圏を中心とした国内市場への導入と一般ユーザーへの販売開始を目指す。
- ▶水素供給事業者は、燃料電池自動車の初期需要創出の為、2015年までに100箇所程度の水素供給インフラの先行整備を目指す。
- ▶自動車メーカーと水素供給事業者は、全国的な燃料電池自動車の導入拡大と水素供給インフラの整備に共同で取り組む。



※ 導入以降、全国的なFCV導入拡大と水素供給インフラの整備に取り組む

	2010	2011	2012	2013	2014	2015
規制見直し	★ データ取得、基準案作成 2010年末 → 2012年度末に結論を 工程表作成 得ることを目指す			規制見直しを反映		
技術開発	性能向上・コストダウンの為に 技術開発を実施			性能向上・低コスト化技術を反映		
水素ステーション 先行整備	4大都市圏を中心に水素ステーションを 先行整備					★

* 民間13社は次の通り。

トヨタ自動車株式会社、日産自動車株式会社、本田技研工業株式会社、JX日鉱日石エネルギー株式会社、出光興産株式会社、岩谷産業株式会社、大阪ガス株式会社、コスモ石油株式会社、西部ガス株式会社、昭和シェル石油株式会社、大陽日酸株式会社、東京ガス株式会社、東邦ガス株式会社。

待望の福岡モーターショー 2012年1月開催！

2012年1月27日に第3回目となる福岡モーターショーを開催します。過去2回はいずれも10万人を超える来場者で賑わい、九州で唯一のモーターショーとして定着しています。

福岡モーターショーは、国内では初めて産学官で構成する実行委員会が主催となって開催したモーターショーです。自動車メーカーの出展に加



▲日産“ESFLOW”（福岡モーターショー2012出展予定車両）



▲トヨタ“86”（福岡モーターショー2012出展予定車両）



▲ダイハツ“PICO”（福岡モーターショー2012出展予定車両）

え、地元企業の出展、九州の大学・高専等の学生が製作した車両の展示、水素燃料電池自動車の展示、自衛隊の車両、消防車やパトカー等の働くクルマの展示、自治体による観光PRやご当地グルメコーナー等、産学官による実行委員会主催ならではの一大イベントとなっています。

子どもから大人まで楽しめる展示、イベントを多数ご用意しておりますので、ご友人やご家族の方をお誘い合わせのうえ、是非ともご来場ください。

アクセス

天神から

天神ソラリアステージ前バス停
2Aのりば（80番）
→中央ふ頭行き
→国際会議場・サンパレス前下車

博多駅から

博多駅センタービル前西鉄バス停
Eのりば（福銀前）（88・99番）
→博多ふ頭行き
→国際センター・サンパレス前下車

地下鉄

福岡市地下鉄呉服町駅から徒歩約15分



福岡モーターショー2012 開催

～クルマと夢見るあしたの暮らし～



開催日程 2012年1月27日(金)～30日(月) 9:30～18:00 ※30日は17:00終了

会場 マリンメッセ福岡、福岡国際センター、福岡国際会議場

主催 福岡自動車博覧会実行委員会

北部九州自動車150万台先進生産拠点推進会議、九州経済産業局、九州地方整備局、九州総合通信局、九州運輸局、九州管区警察局、福岡県、福岡市、北九州市、九州自動車・二輪車産業振興会議、九州経済連合会、福岡県商工会議所連合会、福岡商工会議所、福岡県中小企業団体中央会、北九州商工会議所、福岡県商工会連合会、九州大学、九州工業大学、福岡大学、福岡工業大学、西日本工業大学、久留米工業大学、北九州市立大学、九州産業大学、福岡県自動車販売店協会、福岡コンベンションセンター、日産自動車九州、トヨタ自動車九州、ダイハツ九州、日産車体九州、九州電力、九州旅客鉄道、西日本鉄道、西部ガス、九電工、福岡銀行、西日本シティ銀行、九州観光推進機構、福岡県市長会、福岡県町村会、福岡県中小企業振興センター、福岡県機械金属工業連合会、西日本新聞社、日本経済新聞社、TNCテレビ西日本、TVQ九州放送、RKB毎日放送、KBC九州朝日放送、FBS福岡放送、ラフエフェム国際放送(順不同)



▲福岡モーターショー2009の様子

入場料 一般 1,300円(前売り 1,100円) / 高校生 800円(前売り 600円) ※中学生以下は無料です

ホームページ <http://www.fukuoka-motorshow.jp>

チケット取扱 上記ホームページ、ローソンチケット、セブンイレブン等

会場構成

■マリンメッセ福岡

- 国内自動車メーカー及び国内二輪メーカーのコンセプトカー、最新型市販車の展示
【出展予定ブランド】日産、トヨタ、レクサス、ダイハツ、ホンダ、スズキ、スバル、マツダ、カワサキ(順不同)
- ITS(高度道路交通システム)関連部品用品ゾーン

■福岡国際センター

- 輸入車ゾーン/最新型輸入車の展示
- 関連用品・部品の展示・販売

■福岡国際会議場

- 自動車産業フォーラム、北部九州自動車150万台未来展、150万台構想や福岡水素戦略の紹介、高齢者にやさしい自動車の模型展示等
- 九州学生製作車両展/九州の大学、高専、専門学校等による車両展示

■屋外

- 試乗会
- ご当地グルメゾーン 食の回廊/ご当地グルメコーナーに「九州のうまいもん」が集結!
- はたらくクルマ展示/自衛隊の災害車両、パトカー、白バイ、消防車、救急車などのはたらくクルマを一堂に展示
- モーターサイクル教室



▲福岡モーターショー2009の様子

お問合せ先 福岡モーターショー実行委員会事務局(TEL:092-711-5583)

※会場へは、公共交通機関をご利用ください。

自動車産業フォーラム

自動車産業フォーラムを福岡国際会議場において開催いたします。

ダイハツ工業の白水宏典相談役・技監による特別講演や自動車メーカーの技術担当役員等によるパネルディスカッションを予定していますので、是非ご参加ください。

「福岡モーターショー当日限定・無料入場証」をプレゼントします。(フォーラム終了時に会場で配布予定)

日 時 平成24年1月28日(土) 13:30～16:00 **会場** 福岡国際会議場3階メインホール

(1)特別講演 13:35～14:15(40分)

■テーマ/「ダイハツ工業の新たな戦略(仮題)」 ■講師/ダイハツ工業株式会社 相談役・技監 白水 宏典 氏

(2)パネルディスカッション 14:30～16:00(90分)

■テーマ/「自動車産業の未来と北部九州の役割(仮題)」 ■パネリスト/トヨタ、日産、ホンダの次世代自動車開発役員等を予定

募集人数 先着1,000人【入場無料】

お申込み方法 氏名、住所、所属(該当の場合)、電話番号、人数、申込者全員の氏名を任意の様式でご記入の上、FAX、電子メールによりお申込み下さい。

お問合せ先 自動車産業フォーラム係(福岡県商工部自動車産業振興室内)

TEL:092-643-3447、FAX:092-643-3443 Email: jidousha@pref.fukuoka.lg.jp